



佐倉市施行 70 周年記念  
ロゴマーク

# 佐倉市議会 だより

2025  
＜令和7年＞

02 | 01

No.115

議会だよりを  
リニューアル  
しました！



佐倉くらのすけ

## 11月 定例会

## 一般会計補正予算など 25 議案 可決・承認・同意

学校給食米調達に係る議案、市民の安全・安心を確保するための補正予算など

佐倉市議会は、11月25日から12月16日までの22日間にわたり、令和6年11月定例会を開催しました。今定例会では、市長から「令和6年度佐倉市一般会計補正予算」など議案24件、諮問1件が提出され、審議の結果、可決、承認、同意しました。陳情については「政党機関紙の庁舎内勸

誘が庁舎管理規則の禁止行為であることの確認を求める陳情」1件、議員提出議案は「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」など6件が提出され、審議しました。また、一般質問には各会派の代表質問に7人、個人質問に8人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

### 11月定例会 議案

市長提出議案／諮問	25件
陳情	1件
議員提出議案	6件

※賛否・詳細は6頁を参照

議案を  
PICK  
UP!

### 古民家を活用した 飲食店等がオープンします。

議案第12号



市が所有する国の登録有形文化財、『旧今井家住宅』を民間事業者へ貸し付けます。佐倉産の食材を使用したメニューが提供される予定です。

旧今井家住宅：佐倉市新町 233-5・233-6

## 意見 交換会

## 高校生と 意見交換会を開催

＜12月17日＞

### 令和6年度佐倉市議会意見交換会

意見交換会には、高校生・特別支援校の生徒25名にご参加いただきました。

当日は、議場体験後、4グループに分かれ「30年後の佐倉市に期待すること」などについて意見交換をしました。なお、意見交換会の記録は、2月下旬頃より市議会ホームページ等でご覧いただけます。

## 子供 議会

## 第19回 佐倉市子供議会 開催＜11月5日＞

模擬議会を通して、市役所の働きや市の政治のしくみについて学び、地域に対する関心を高め、郷土愛を育むことを目的に、佐倉市子供議会が開催されました。

市内小学校11校から13名の生徒が、議長、副議長、議員となり、登壇しました。



議場にて



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ

佐倉市議会ホームページ



# 一般質問

11月定例会では、12月2日から5日までの4日間にわたり一般質問を行いました。市政に対し、活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

## 一般質問通告要旨

※は持ち時間 60 分、それ以外は 30 分。( ) 内は会派名。  
通告内容は、質問者から議長に文書に通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

### 代表質問

- 望月 庄子** (さくら会)※  
①市長の政治姿勢／②子育て支援・教育・福祉が充実したまちづくり／③地域の活性化について／④安心して暮らし続けることができるまちづくり／⑤当面の課題
- 石井 秀明** (自由民主さくら)※  
①西田市長の市政運営／②持続可能な佐倉の実現／③佐倉市の子育て環境の充実／④佐倉の魅力のさらなる向上／⑤自治体運営のDX化
- 長谷川 泰弘** (公明党)※  
①市長の政治姿勢について／②教育問題について／③福祉の充実について／④今後の課題について
- 伊藤 とし子** (市民ネットワーク)  
①市民サービス向上への取り組みについて／②水道料金値上げ問題について／③一般廃棄物処理問題について
- 石井 昇** (日本共産党)※  
①市長の政治姿勢について／②選挙投票所について／③市民の命と暮らしを守る予算編成へ／④東洋バス、市内の宮ノ台線廃止について／⑤生活保護行政の推進について
- 高橋 とみお** (公開と改革)  
①防犯・防災対策／②指定管理者制度／③千葉県道64号臼井印西線と市道が交わる変則五差路／④里山自然公園の民有地買収
- 三井 義文** (無会派の会)※  
①市行政体制について／②市民の健康保全について／③教育の多様化・充実について

### 個人質問

- 岡村 芳樹** (公明党)  
①地域共生社会の実現に向けた取り組みについて／②多様性を認め合う社会の実現に向けた取り組みについて／③安全・安心な住みよいまちづくり／④教育問題について
- 高木 大輔** (さくら会)  
①事業者が安心して事業ができるまちづくりについて／②特別な支援や配慮を必要とする子どもへのサポート体制／③歴史文化の振興と芸術教育の充実について／④市長の政治姿勢
- 徳永 由美子** (自由民主さくら)  
①行財政改革と公民連携について／②佐倉市の自然と環境について／③上志津一区の調整池整備について／④学校における不登校・いじめ対応について
- 稲田 敏昭** (公開と改革)  
①市長の政治姿勢について／②移動サービス(福祉有償運送)について／③歩道について／④イノシシ対策について
- 鍋田 達子** (公明党)  
①学校問題について／②子育て環境の向上について／③安心安全のまちづくりについて／④防災対策について
- 松島 梢** (市民ネットワーク)  
①有機農業について／②街路樹について／③公共交通について／④子ども・子育て支援について
- 五十嵐 智美** (市民ネットワーク)  
①第5次地域福祉計画について／②指定管理者制度について／③狭あい道路問題について
- 三谷 英継**  
①佐倉市の広報について／②安心、安全な暮らしについて

### 代表質問



さくら会  
もちつき あつこ  
**望月 庄子**



#### 市長の政治姿勢

**問** 30年後の佐倉市100周年を見据え、「持続可能なまち『佐倉』の実現」に向けて、将来を担う子どもたちに対する教育と教育環境の充実に、より一層、力を入れるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 人口減少・少子高齢化の進行やICTの進展に伴う生活様式や価値観の多様化、気候変動に伴う自然災害の激甚化などの影響により、社会全体が大きく変化している。特に子どもたちの教育環境は大きく変化している。子どもたちが「生きる力」を身に付けるための取り組みが重要と認識しており、具体的には、GIGAスクール端末やインターネット環境の更新、幼保小の架け橋プログラムの推進、不登校児童生徒の受け入れ先の拡充、老朽化した校舎や体育館の再整備など、バランスの取れた事業展開が必要であることから、関連施策を一体的に推進し、教育の質を向上させ、子どもたちの「育ち」や「才能の開花」を支援していく。今年度は多くの小中高生と接し、彼らのために努力する決意を新たにしました。今後市内5校の県立高校等の生徒の意見等

を取り入れ、総合計画に基づく基本施策の「学校教育」や「教育環境」を着実に進め、持続可能なまち「佐倉」を実現していく。

#### 当面の課題

**問** 庁舎整備については、他の自治体において10年程度の期間を要していることを踏まえると、目標である令和18年度までの12年間で迅速かつ効率的に進めるためには、専門的かつ組織的な対応が不可欠だが、資産経営部では公共施設の再配置の推進という大きな業務も抱えていることから、これらの業務の進行と併せて新庁舎の整備をどのように検討していく予定か伺う。

**答** 新庁舎の整備に関しては、整備の手法や庁舎の場所など、さまざまな要因に対し、あらゆる可能性を踏まえ、組織横断的かつ多角的に検討する必要がある。現在進めている公共施設の再配置方針が策定されると、再配置に関する新たな業務が多く生じるため、再配置業務と新庁舎整備の検討を統合的に進める体制も整備する必要がある。今後、限られた期間で迅速かつ効率的に検討を進めるためにも、関係部署と協議しながら、組織的な体制の整備に努めていく。



自由民主さくら  
いしい ひであき  
**石井 秀明**



#### 市制施行70周年記念事業

**問** 市内5校の県立高校等が包括連携協定に基づき、青春文化祭で活躍したが、市外の高校に通う市内在住の高校生にも活躍の場を提供できるとよいのではないかと。

**答** 青春文化祭は今回限りの想定だったが、継続実施の方向で検討。今後全ての子どもたちに参加してもらえよう工夫していく。

#### 気候変動対策について

**問** 総合計画中期基本計画の重点施策に、気候変動対策についての市民意識の醸成に資する取り組みを進めるとあるが、今年度の具体的な取り組みを伺う。

**答** 今年度作成した佐倉の気候変動ハンドブック等を用い、エコメッセちばや佐倉産業大博覧会で周知啓発を行った他、気象キャスターによる公開講座を開催。市の取り組みについても講演。ESDの出前授業を試行的に間野台小学校、根郷中学校で実施。

#### こども家庭センター

**問** 今年度の新規相談における相談経路と対象児童の年齢層の内訳を伺う。また心配な家庭との関わり方、支援方法を伺う。

**答** 相談経路は、10月末時点で関係機関から46.2%と最多で、年齢層は未就学児と小学生で大半を占める。相談に対する支援は、日頃関わる所属機関がこども家庭センターへの相談を促し、家庭訪問や面談で助言や支援サービスの利用調整を行う。

#### 部活動の地域移行

**問** 完全地域移行後の活動費は、全額保護

者負担になるのか。市からの補助などの家庭への支援策について伺う。

**答** 受益者負担については、今後保護者へのアンケート等を実施し、国や県、近隣市町村の動向を踏まえ検討。可能な限り各家庭の負担が軽減できる方策を検討する。

#### 魅力推進部創設の効果について

**問** 佐倉ゆかりのアーティストであるバンブオブチキンの楽曲を、市のPRとして、佐倉の玄関口、京成佐倉駅やJR佐倉駅の構内で流してはどうか。

**答** バンプオブチキンには、さまざま市に貢献いただき、楽曲の使用も提案は行ったが実現に至っていない。市とつながりのある著名人と、友好的関係を築き応援するとともに、交流人口の増加につながる取り組みに対し、協力依頼し魅力発信に努めていく。



公明党

はせがわ やすひろ

長谷川泰弘



#### DI C川村記念美術館について

**問** DI C川村記念美術館の佐倉市での存続を求める会を立ち上げ、5万8000筆に及び署名など、存続に向けた取り組みが展開されてきた。今回の問題が、経営的な観点、具体的には運営資金等の経営資源の調達にあると仮定すれば、署名活動だけで解決できるものではないと考える。市として、次の一手を考えているか伺う。

**答** 当該美術館の運営支援に係る財源については、市民税等ではなく、ふるさと納税やクラウドファンディングなど、同館存続に思いのある方から寄せられた原資を活用すべきと考え、その調達から支援の在り方を、アイデアレベルだが現在検討している。取締役会判断に対して、次の一手が迅速に打てるよう内部検討を進める。

#### 認知症の対策について

**問** eスポーツの認知症予防効果は、国内外さまざまな機関から公表されたデータで立証されている。高齢者の認知機能の維持向上等へ活用してはどうか。見解を伺う。

**答** eスポーツについては、従来の通いの場に参加していない方の参加の可能性を考慮すると、認知機能の維持や引きこもり予防など、一定の効果があるものと認識している。一方、機材の準備や扱える人の育成、財政面などの課題もあり、他自治体の先進事例などを研究する。

#### 東洋バス宮ノ台線の廃止について

**問** 宮ノ台線の廃止について、市民からの問い合わせや地元自治会などから存続等についての要望書の提出はあったか伺う。

**答** 市民から意見が寄せられており、近隣二つの自治会から要望書が提出された。

**問** 東洋バス宮ノ台線廃止の申し出以降、市はどのような対応をとったか伺う。

**答** 市長が当該交通事業者の社長と直接面談し、事業継続を依頼するなど、さまざまな調整を図った。なお、先般の地域公共交通会議において、代替案を検討している他の事業者から、勝田台駅北口のバス停位置が課題であると報告されたが、副市長が関係自治体を訪問し、状況を説明するなど、できる限りの調整を図っている。

**問** 市においては、住民の切実な声を真摯に受け止め、住民の思いに寄り添い、官民連携等さまざまな努力と協力をお願いする。



市民ネットワーク

いとう としこ

伊藤とし子



#### 窓口受付時間短縮問題について

**問** 12月から試験的に隔週日曜日の窓口受付時間を午前中の半日とした。納税相談等市民サービス低下が懸念されるがどうか。

**答** 24時間受付可能な電子申請システムでの事前予約制に移行。また、当日は予約なしの来庁者にもできる限り対応していく。

#### 水道料金あり方懇話会値上げ案について

**問** 13.2%の水道料金値上げ案が市長へ提言される段階だが、市民への説明と意見反映はどうするのか。

**答** 地区別に説明会を行い、意見を聞いて、参考にしたい。

**問** ハッ場ダム、霞ヶ浦導水事業などが水道料金を押し上げる大きな要因である。また、県の言い値どおりの高い浄水委託料も払っている。値下げの交渉をすべきでは。

**答** 受水費抑制に向け、印旛地域受水検討会を設置し、今後の在り方を検討している。

**問** 一般会計からの繰り出しも検討し、利用者への影響を軽減すべきでは。

**答** 国の制度に基づく繰り出しは受けている。それ以外は現在検討していないが、環境変化に応じて総合的に対応していきたい。

#### 廃棄物の危険な発火事故防止に向けて

**問** 町田市では廃棄物中のリチウムイオン電池等による大規模な発火事故が2年間で4度も発生。現在、発電施設は稼働停止中。佐倉市・酒々井町清掃組合ではどうか。

**答** 今年度2件、昨年度は1件発生。

**問** 市民に対して、リチウムイオン電池等の危険性を情報提供する必要がある。



日本共産党

いしい のぼる

石井 昇



#### 市長の政治姿勢について

**問** 原水爆禁止佐倉市協議会に対する平和

啓発資料の貸し出し拒否の理由を伺う。当該団体は、ほぼ毎月6日または9日に核兵器廃絶の宣伝活動を行っている市民団体で、広く市民を対象とし、平和条例の目的に合致すると考える。毎回、貸し出しにあたり配布チラシの検閲のようなことをするのはなぜか。団体は活動の傍ら皆さまに被爆の実相を伝えるため貸し出しを求めており、市はもっと協力すべきと考えるか伺う。

**答** 市貸出要領に、宗教、政治、営利を目的とする活動及び有料の催しは対象外と規定しており、活動内容について審査を行っている。さまざまな主体による平和活動の活発化は歓迎するが、公平性の観点から一定のルールがあることを理解いただきたい。

**問** チラシに記載している核共有Q&Aは、一般的なもので、間違っていると思わない。

#### 選挙投票所について

**問** 有権者意識の醸成のためにも、各高等学校で期日前投票の実施が有効と考えるか伺う。

**答** 投票所受付に必要な回線設備の整備、投票管理者、立会人、投票事務従事者の確保に課題があり、現在実施する計画はない。高校生の主権者教育として投票所での選挙事務体験、高校での出前講座、模擬投票体験等の機会を活用し啓発に取り組む。

#### 東洋バス、市内の宮ノ台線廃止について

**問** 京友会団地入口バス停の再開への展望について伺う。

**答** 市長をはじめ担当課では、宮ノ台地区等の地区代表者が参加する自治会協議会に出席し、直接市民から話を伺っている。今後の展望は、路線を検討している別の事業者から具体的な課題が提示されたため、副市長が直接関係自治体に赴くなど、関係事業者、自治体との調整を図っている。

#### 生活保護行政の推進について

**問** 生活保護費について「これは税金なんですよ」という言葉に心が折れたと聞くことがあったが、当市ではケースワーカーがこのような発言をしていないか。

**答** 全てのケースワーカーは、生活保護制度の趣旨を理解した上で相談業務を担当しており、説明において、そのような話をすることはないと思知している。



公開と改革

たかはし とみお

高橋とみお



#### 個人向け防犯カメラの補助金制度等の提案

**問** わが国の刑法犯認知件数は増加傾向にある。また、外国人の不法残留者の数や彼らを因とする犯罪も増加している。以上の傾向は、慢性的な不景気等を背景に、当面は改善しないと考えられる。そこで、佐倉

市の防犯に対する考え方について問う。

答 これまで安心して暮らせるまちづくりを目標とし、さまざまな取り組みを行ってきた。一方、特殊詐欺による被害や闇バイトによる強盗事件も相次いでいることから、今後は警察や地域と力を合わせて安全、安心な社会の実現に向けて取り組んでいく。

問 市長の話のとおり、闇バイトによる強盗や窃盗が社会問題になっている。この犯罪は日々巧妙化しており、昨今では一般に使われているアルバイト募集サイトで募集をかけ、強盗団を組織する手法が確立しつつある。そのような犯罪に関し、佐倉市ができる対策の一つに、防犯カメラや照明器具等の設置を促進する施策がある。また、複数の警察官と意見交換したところ、事件が発生した際、防犯カメラを設置した個人宅と警察とが連携できるスキームが構築された場合、犯罪発生率の低下に寄与するだろうというご意見をいただいた。そこで、個人宅用の防犯カメラや防犯用照明器具の設置補助と合わせ、個人宅に設置された防犯カメラの映像に関する警察との連携強化などを進める意思があるか伺う。

答 各家庭における防犯カメラ等の設置補助等については計画していない。



無会派の会  
みつい よしふみ  
三井義文



市行政体制について

問 行政も企業家的視点で民間事業への出資や利益に応じた変動賃料にするなどの財源創出方法を検討してはどうか。

答 市の資産運用の公共性、安全性を考慮し、新たな手法の確保は今後研究していく。

問 大型チェーン店の利益計上は、本社所在地となるが、地元の消費から出る利益は、地元の財源にする税制を検討してはどうか。

答 地方公共団体が地方税法に定めのない税目を導入するには、既存税目との重複、納税者への影響等の検証が必要であり、新たな税目の創設は難しいと考える。

問 ノウハウ周知のため、市職員の民間出向による人材育成制度を導入してはどうか。

答 民間との人材交流は、市の人員体制等も考慮した上で、必要に応じ研究していく。

問 公益通報制度については、市職員が安心して通報できる環境になっているか。

答 公益通報の取扱いに関する要綱に基づき安心して通報できる制度を担保している。

市民の健康保全について

問 増加する医療歳出の削減方法として未病対策がある。市の未病対策について伺う。

答 健康寿命延伸を目指す健康さくら21(第3次)に沿い未病対策を実施している。

問 がんは食源病であるが、安全な食品知識の啓発はどうなっているか。

答 健康教育や個別相談を通じ、必要に応じ、食の安全に関する情報を提供していく。

問 コロナワクチンについて厚労省の情報に偏らず、多面的な情報を提供すべきでは。

答 市民に正しい情報を届けることが重要。国の動向を注視し、最新情報を届ける。

教育の多様性・充実について

問 文教のまち佐倉の魅力はどこにあり、どのような取り組みをしているか。

答 市の魅力は歴史、自然、文化に代表され、佐倉学として学校の授業に取り入れ、一般向けに講座も開催している。

問 戦後失われた日本本来の歴史や最新の古代史研究なども発信してはどうか。

答 市民カレッジ等で魅力を再認識する講座を開催している。

問 学習環境として、通勤・通学の導線に自習スペースを確保できないか。

答 市内の図書館、公民館などに通年で利用できるスペースがあり、活用されている。

個人質問



おかむら よしき  
岡村芳樹  
公明党



パートナーシップファミリーシップ制度

問 制度の導入は、LGBTQ+当事者の方々ととり、大切なパートナーとともに、さまざまなサービスや社会的な配慮を受けられることで、安心感をもたらすことができる。考えを伺う。

答 当事者や事情により婚姻制度を利用することができない方々の生きづらさや困難の軽減につながるとともに、地域社会における理解の促進にも寄与するものと考え。令和7年4月の導入に向けて準備を進める。

不登校対策について

問 市運営の教育支援センター「ルームさくら」がある。今後、個別学習と小集団学習の二つの学習形態による支援を行うことを要望する。見解を伺う。

答 志津教室では、小集団学習だけでなく個別学習ができるよう準備を進めている。佐倉教室においても、小集団学習の実施について方策を検討する。

問 今後、佐倉地区・志津地区以外でも、「ルームさくら」の開設が必要と考えるが、教育長の見解を伺う。

答 現在、令和7年度より「ルームさくら」の1教室増設を検討している。これで多くの不登校児童生徒が身近な学びの場を選択できるようになる。



たかぎ だいすけ  
高木大輔  
さくら会



カスタマーハラスメントの進捗状況

問 昨年度、周知や理解を図るため消費生活センターが行う講座での取り扱いを提案したが、その後の進捗状況はいかがか。

答 1月に消費生活セミナーで講座開催を予定している。また、出前講座で消費者側の留意点を伝え、HPにも内容を掲載する。

問 市職員に対する対策の進捗はいかがか。

答 組織的に把握するため1月に職員に実態調査を行い、所属長研修も実施予定。

特別な支援等が必要な子どもへの支援

問 現状と課題、市の取り組みについて

答 昨年度、実態等把握のため調査を実施し、短期入所施設の不足等を把握した。これを踏まえ協議会で対応策を検討している。

問 医療情報等を共有する多職種情報連携ツールの利用促進に努めていただきたい。

問 吃音の早期発見への取り組みについて

答 来年度3歳児健診の問診票に吃音に関する項目を追加し、早期発見支援に努める。

千葉開府900年事業の連携について

問 開府900年事業等に関する取り組みは。

答 千葉一族にゆかりのある12の都市との連携や歴史的等資源を通じ地域活性化を目指す千葉氏サミットへの参加をしている。

問 千葉一族にゆかりのある「中世臼井・志津の歴史」の調査・研究も要望する。



とくなが ゆみこ  
徳永由美子  
自由民主さくら



佐倉市みどりの基本計画について

問 公園でプレーパークと炊き出しのコラボが広がると老若男女、子どもたちも楽しく参加できる防災訓練ができるのではないかと。かまどベンチの普及を検討すべきでは。

答 自治会だけでなく、子どもNPOなどの意見を伺いながら検討を進めていく。

問 大手門跡広場に期間限定で設置したバイオトイレのその後について伺う。

答 継続使用の協議とともに通常トイレの設置について検討を進めている。

問 禁止事項が多い公園だが、子どもたちの意見を反映した公園造りにも取り組んでみてはどうか。

答 公園の整備計画や利用ルールの策定にあたり、子ども対象のワークショップなどを開催し、子どもたちの意見、アイデアを取り入れながら検討を進めていく。

問 ユニバーサル遊具の検討状況を伺う。

答 地域の公園の総面積や配置バランスの

検証、さらに利用者の属性に基づき、インクルーシブ公園など、特色ある公園造りの検討を進めていく。

#### バイオ炭の利用促進について

**問** 近い将来にはバイオ炭を活用した農産物の付加価値も佐倉市のオーガニックビレッジに値するので、推進してほしい。



い나다 としあき

**稲田敏昭**

公開と改革



#### 車庫の出入口について

**問** 車庫の出入口における歩道切り下げについて、幅や勾配など基準があるか伺う。

**答** 高齢者や車椅子の方など歩行者が安全で円滑な通行ができるよう、切り下げによる影響を少なくするため、住宅や店舗、工場など建物の用途に応じ基準を設けている。

**問** 歩道の切り下げ工事に手続きが必要か。また、その費用は申請者負担になるか伺う。

**答** 歩道の切り下げは、道路法に基づき事前に道路工事施工承認を受ける必要がある。費用については申請者負担となる。

#### イノシシ対策について

**問** 市内の農作物の被害状況、佐倉市鳥獣被害対策実施隊の活動状況について伺う。

**答** イノシシの捕獲状況は、12月4日時点で87頭、年度末には100頭を超える可能性がある。農作物の被害状況は、令和4年度が約76万円、令和5年度は約104万円の被害額で増加傾向である。鳥獣被害対策実施隊の出動回数も令和4年度は47回、令和5年度は72回と増加傾向である。

**問** 今後の課題は何か伺う。

**答** イノシシの繁殖スピードに捕獲が追いついていない。実施隊の負担も増しているため、隊員の拡充、また、隊員の知識、技術の向上を目指し、育成にも努めている。



なべた たつこ

**鍋田達子**

公明党



#### テストの自動採点システムについて

**問** 教員の業務の簡素化・効率化に資するテストの自動採点システムを、全小中学校に早期に導入する考えについて伺う。

**答** 教員の働き方改革にも資すると考え、費用も含め他市町の状況調査を開始した。

#### 子育て環境の向上について

**問** 利便性向上のため、一時預かり保育のキャッシュレス決済の導入について伺う。

**答** 現在民間施設3カ所導入。今後、公立保育園でのキャッシュレス決済を進める。

**問** 紙の母子健康手帳と併用して、母子健康手帳の電子化について伺う。

**答** 先行導入自治体のアプリを調査研究し、今後、導入の時期や活用方法を検討する。

#### 安心安全のまちづくりについて

**問** 現在、試験的に行っている製品プラスチックの回収は再資源化の実績が上がっている。資源循環型や環境問題等の観点からも本格実施に値すると思うが考えを伺う。

**答** 本格実施を検討する。

**問** 家庭ごみ分別一覧表の情報量が増加しているが、今後文字を大きくしたりイラストで分かりやすくするなど市の考えを伺う。

**答** 令和8年度以降、充電式電池内蔵製品のイラスト追加等、より市民に分かりやすいごみカレンダーとなるよう工夫する。



まつしま こずえ

**松島 梢**

市民ネットワーク



#### 有機農業の推進について

**問** オーガニックビレッジ宣言を行い、有機農業推進に取り組んでいる。国からの交付金が今年度で終了するが、来年度以降も市で予算をつけて進めていくべきと考える。

**答** 国や県の他の補助金や関連するものも含め、予算確保に向けて検討を進めている。

#### 街路樹の整備の現状について

**問** 高木・中木を管理する予算がつけられていない。低木の入札の執行残で管理を行っている。街路樹に関する市民からの要望は多数寄せられており、しっかりと高木・中木管理の予算を確保すべきではないか。

**答** 歩道利用者に配慮し、低木への対応を優先せざるを得ないが予算の確保に努める。

#### 地域公共交通について

**問** 路線バスやコミュニティバスの補完として、行きたい時間に行きたい場所に行けるデマンド型交通が必要と考えるがどうか。

**答** AIオンデマンドなど、新技術の導入は地域の実情に応じた活用の検討を進める。

**問** 八千代市は65歳以上の運転免許自主返納者にタクシーチケットの助成制度がある。市も助成制度が必要と考えるがどうか。

**答** 移動困難者対策の観点から、次期公共交通計画において、方針の一つとして位置付け福祉部と連携し、具体的施策を検討する。



いがらし ともみ

**五十嵐智美**

市民ネットワーク



#### 第5次地域福祉計画について

**問** 国は、高齢者や障がい者、子どもなどの分野や世代を問わず包括的に受け止める相談支援、社会とのつながりを図る参加支援、交流などの場をつくる地域づくりに向けた支援を一体的に取り組み、誰一人取り

残さない支援体制を構築する重層的支援体制整備事業を創設した。既存の相談支援を生かし、新たな機能の追加で交付金も活用でき、相談体制の充実が可能だがいかがか。

**答** 生活困窮者自立支援事業で導入したアウトリーチ型支援などにより、既存の事業の連携を強化するなど、同等の充実を図る。

**問** 相談体制づくりに向け、今後、どのように連携した体制としていくのか伺う。

**答** アウトリーチ型支援を行う相談員が自ら地域に出向き、分野を問わず、困窮する方を発見し、必要な支援につなぐ。この相談員を仲立ちとして、地域の連携を図る。

#### 狭あい道路問題について

**問** 道路幅が4m未満の道路が狭あい道路。この道路に接して建物を建築する場合、道路の中心線から2m後退が義務。成田市、酒々井町等では道路から後退した用地の寄付を受け、市等が国の補助金を使い測量や整備等を行っているが佐倉市の取り組みは。

**答** 平成19年度末で補助制度を廃止した。



みたに ひでたか

**三谷英継**

#### 安心安全な暮らしについて

**問** 佐倉市地域防災計画では、西志津スポーツ等多目的施設を応急仮設住宅建設候補地と位置付け、応急仮設住宅を207戸建設可能とするが、大規模災害が発生した場合、十分な数とは言えないと考える。当該住宅を遅滞なく提供するためにも、新たに具体的な建設候補地の選定は行われているのか。

**答** 能登半島地震の教訓を踏まえ、あらかじめ候補地の選定等が必要であると認識したことから、必要戸数を充足する具体的な候補地の選定について見直しを進めている。

**問** 住宅に被害を受けた被災者の方に対しては、賃貸住宅を行政が借り上げて一時的な住まいとする、賃貸型応急住宅の提供も想定されるが、提供可能と予測される賃貸型応急住宅の戸数は把握しているのか。

**答** 民間賃貸住宅については、空き状況等が日々変化しており、実態の把握は困難であるものと認識している。大規模な災害が発生した場合は、被災者支援の実施主体が都道府県となることから、千葉県において、災害時における民間賃貸住宅の提供に関する協定を、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会等と締結しており、災害時には、千葉県と連携し公営住宅を含む賃貸型応急住宅の確保に努める。

**マチイロ**

スマートフォン用アプリ『マチイロ』で、佐倉市議会だよりをご覧ください。



# 議案賛否一覧

議決結果欄 可：可決／否：否決／承：承認／同：同意／不：不採択／○：賛成／×：反対／議：議長／欠：欠席

議案番号	議案名	議決結果	さくら会					自由民主 さくら					公明党				市民ネット ワーク			日本 共産党		公開と 改革		無会派 の会		1			
			No. 10	17	18	22	23	24	25	26	28	8	9	13	14	21	4	15	16	27	11	19	20	3	12		5	6	2
		議員	密本成章	望月庄子	斎藤明美	敷根文裕	村田稷史	高木大輔	爲野裕子	櫻井道明	齋藤寛之	石井秀明	徳永由美子	橋岡協美	山本英司	長谷川泰弘	押木孝和	鍋田達子	岡村芳樹	松島梢	伊藤とし子	五十嵐智美	石井昇	木崎俊行	高橋とみお	稲田敏昭	三井義文	宇田みおこ	三谷英継
<b>市長提出議案</b> ※白抜き数字は諮問番号																													
1	令和6年度佐倉市一般会計補正予算（令和6年11月25日議決）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	令和6年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和6年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和6年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和6年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和6年度佐倉市後期高齢者医療特別会計補正予算	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	一般職職員の給与に関する条例及び佐倉市任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	財産の取得について（ふるさと広場拡張整備事業により整備する駐車場の用地として土地を取得するもの）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	財産の貸付について（民間事業者に対し、一定期間無償で旧今井家住宅主屋等を貸し付けるもの）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	指定管理者の指定について（佐倉市男女平等参画推進センター）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	指定管理者の指定について（佐倉市ヤングプラザ）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	指定管理者の指定について（佐倉草ぶえの丘）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	行政不服審査会委員の委嘱について（海野 仁志（うんの・ひとし）氏を再度委嘱するもの）	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	行政不服審査会委員の委嘱について（覺正 豊和（かくしょう・とよかず）氏を再度委嘱するもの）	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	行政不服審査会委員の委嘱について（津軽石 昭彦（つがるいし・あきひこ）氏を再度委嘱するもの）	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	行政不服審査会委員の委嘱について（日名子 暁（ひなご・あき）氏を再度委嘱するもの）	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	行政不服審査会委員の委嘱について（鈴木 崇士（すずき・たかひと）氏を委嘱するもの）	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度佐倉市一般会計補正予算）	承	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	財産の取得について（学校給食米の買入れについて、価格高騰を踏まえた内容変更）	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	損害賠償の額の決定及び和解について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	人権擁護委員候補者の推薦について（藤江 潔（ふじえ・きよし）氏）	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>陳情</b>																													
12	政党機関紙の庁舎内勧誘が庁舎管理規則の禁止行為であることの確認を求める陳情	不	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
<b>議員提出議案</b> ※数字は発議案番号																													
1	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書	否	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書	否	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	小中学校の大規模改造（空調（冷暖房設備）整備）事業の促進に関する意見書	否	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4	学校体育館への空調設置に係る補助事業の拡充を求める意見書	否	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	介護保険制度の根幹を支える訪問介護の存続と充実を求める意見書	否	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	「第7次エネルギー基本計画」策定において、可能な限り原発依存度を低減するよう求める意見書	否	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

## 議案に対する会派等の意見

### さくら会

#### 議案第1号、第23号 学校給食米調達に係る議案に賛成

これらの議案は、米価高騰に対応し、学校給食で使用する佐倉産米を安定的に確保す

るため、既存契約の見直しに必要な予算の確保、さらには、当該予算措置を踏まえた契約変更の承認に係るものであり、子どもたちの健全育成、市内農家の経営安定化に資するものと判断し、賛成した。なお、契約始期を通年米価が見通せる収穫期後とするなど、契約変更が生じる恐れのない手法を検討すべきと考える。

#### 議案第2号 一般会計補正予算に賛成

議案第2号の補正予算案には、生活保護費等給付事業や子ども医療費助成事業の増額など、市民生活の堅持に必要な予算が計上されているものと判断し、賛成した。

#### 議案第11号 財産の取得に賛成

議案第11号は、ふるさと広場拡張整備事業の駐車場用地を取得しようとするもので

あり、観光Wコア構想に基づく、観光振興等を目的とした取り組みであり、その早期完成による地域振興、さらには、交流人口の増加が期待できることから賛成した。

#### 議案第15号 指定管理者の指定に賛成

議案第15号は、佐倉草ぶえの丘の指定管理者として、令和7年度からの10年間、株式会社日比谷アメニス東関東支店を指定しようとするもの。さくら会では、平成28年の同提案に対し、印旛沼周辺地域活性化の核にふさわしい管理手法となるよう十分な検討を求め、また令和2年の提案に対しては、当該施設の新型コロナウイルス感染症による社会変容、その収束を見極める必要があるとし、反対した案件であり、結果、市議会としても否決してきたものである。今回の提案は、周辺関連施設であるサンセットヒルズや佐倉ふるさと広場との連携を含め、その管理運営手法について十分な検討がなされるなど、これまでの議会等からの意見を踏まえた再提案と判断し、賛成する。なお、今回の審議において焦点となった10年に及ぶ指定期間については、事業者からの有効な設備投資がなされるよう、公募時の仕様を工夫された点などを評価した。マンネリ化など、長期契約による弊害を発生させぬよう事業監理に努めていただき、より魅力的な施設となることを切望する。さらに、残念ながら不調となったサンセットヒルズと当該施設は、目的や位置等の関係に鑑みても、連携による相乗効果が期待できるものと考えている。指定管理という手法に限定することなく、より効果の高い運営方法について検討していただきたい。

### 自由民主さくら

議案第2号 令和6年度佐倉市一般会計補正予算については、昨年11月より開始された高校生等医療費助成事業について補正予算が計上された。まだ利用実績の分析はできていないということだが、子供医療費助成事業の市費拡充分と合わせ、子育て世代の経済的負担軽減のために、しっかりと継続していくことを望む。また、避難行動要支援者対策事業は、今回新たな福祉避難所との協定により災害時に活用するためのIP無線の購入だが、今後とも協定福祉避難所を増やし、障害者や高齢者などの災害弱者のための整備を図っていただきたい。議案第13号 佐倉市男女平等参画推進センターの指定管理者の指定については、1団体からの応募ではあったが、LGBTQ+へのアプローチなど、佐倉市でも来年度よりパートナーシップ制度を導入することもあり、社会の多様性に応じた事業提案がなされていることから賛成する。議

案第14号 佐倉市ヤングプラザの指定管理者の指定については、評価点自体は芳しくなかったものの、佐倉市での安定した運営実績があり、午前中の施設活用や不登校、引きこもり等の子どもたちへの施設活用に対して取り組むとあった。市民と協働の管理運営という面からも、不登校の親の会との連携なども見据えた子どもたちの居場所づくりを期待する。

### 公明党

#### 議案第2号令和6年度一般会計補正予算に賛成

令和6年度一般会計補正予算は、利用者増による障害者訓練等給付事業、生活保護費等給付事業、子ども医療費助成事業(市費拡充分)、高校生等医療費助成事業や、交通安全施設維持管理事業、避難行動要支援者対策事業、田んぼダム普及事業、グリーンリサイクル事業に加え、来年度地域包括支援センターの事務職員を増員するための経費を盛り込んだ通年業務に係る債務負担行為などであり、市民の安心安全な生活を確保するための重要な内容である。市民の皆さまが真に必要とする支援策に係る経費であることから、可及的速やかに取り組むべきと判断し、賛成する。

議案第15号指定管理者の指定について賛成  
草ぶえの丘の指定管理については、サウンディング調査の意見を参考に10年間の契約期間としているが刻々と変化する社会情勢にしっかりと対応できるよう、市と情報共有を密にしてWコア構想に基く印旛沼周辺の地域活性化や市のさらなる魅力発信の推進力となるよう取り組んでいただきたい。

### 市民ネットワーク

議案2号、11号、15号に反対する主な理由  
議員、特別職の期末手当0.1月分引き上げは、物価高騰で日々の生活が苦しい中、市民の理解が得られない。ふるさと広場から草ぶえの丘に抜ける新設道路、飯野Ⅱ-31号線1.2km、約10億円の建設予定地には貴重な動植物の生息地もあり、影響が懸念される。建設資材や人件費の高騰で、生活道路等の工事も予定どおり進捗していない中での大型工事。ふるさと広場を通年型の観光地にするための用地購入。臼井田地先の危険な五差路が抜け道として利用され、事故や渋滞の恐れがある。市民から要望の多い生活道路や街路樹の整備を優先すべき。草ぶえの丘の指定管理者の指定は、これまでに例のない10年間の長期契約に。ガバナンスが利かなくなり、行政との癒着が懸念される等の弊害が危惧される。慎重に対応すべき。

### 日本共産党

飯野Ⅱ-31号線整備事業2908万7000円があるが、不要不急な予算に反対。例えば、加齢性難聴による補聴器の購入について、印西市並みに助成をした場合、必要な予算は約460万円。市民生活に密着した要望を後回しにする予算は認められない。市議会議員、市長などの特別職期末手当増額議案に反対。市民要望を後回しに観光施策優先となる市政運営をする市長などの期末手当を上げる等、市民感情にそぐわない。指定管理者の指定3件は税金で利益追求、低賃金を進める株式会社への指定で反対。

### 公開と改革

草ぶえの丘の指定管理者選定の仕様や選定結果に疑義が残る結果となった。①基本方針では5年としている指定期間を、本施設だけ10年という長期に延長、②年間管理料の上限額を6800万円から一気に1億円とした、③平成28年、草ぶえの丘とサンセットヒルズの指定管理者を一体にせよという議会の指摘で否決された経緯があるにもかかわらず、分割募集したこと。結果、サンセットヒルズの管理者に応募する事業者が現れず、同施設のみ佐倉市の直営施設として運営せざるを得ない状況となったこと。

### 無会派の会

市長など特別職職員および議会の議員の期末手当の値上げ(0.1月分)に反対  
ふるさと広場拡張事業に賛同するも、推進に当たっては、想定される交通渋滞に伴う周辺道路の整備、隣接する住民やその生活への影響等、開発による環境変化を十分に考慮し、事業計画を進めるべき。  
旧今井家住宅等における民間能力を活用した事業実施を、市の資産活用の好事例とし、市の財源につなげる努力に徹すること。  
草ぶえの丘指定管理は、10年間の長期契約のため、管理基準保持の連携強化を求める。

### 会派に属さない議員

#### 議席1番

議案第7号、第8号に反対。厳しい財政状況と言いながら、市議会議員、市長などの特別職の期末手当を増額する議案に反対。議案審査において特別職報酬等審議会での審査対象外と答弁されたが、議員報酬、給料と同様に審議会への諮問を行うべき。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

# 委員会報告

※議案は市長提出議案 ◎委員長 ○副委員長 審査結果欄 可：可決/承：承認/不：不採択

## 総務常任委員会

### 審査結果

議案1	議案2	議案3	議案6	議案7	議案8
可	可	可	可	可	可
議案9	議案10	議案13	議案16	議案22	陳情12
可	可	可	可	承	不

開催日：令和6年11月25日、12月9日 場所：第四、第三委員会室  
委員：◎平野裕子/○押木孝和/高橋とみお/木崎俊行/山本英司/敷根文裕/櫻井道明

### 付帯意見

指定管理者の指定については、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と経費の節減等を図るという趣旨を踏まえ、多種多様なノウハウやアイデアを持つ複数の事業者から応募いただけるよう創意工夫に努めていただきたい。



議案第13号 指定管理者の指定：佐倉市男女平等参画推進センター

## 文教福祉常任委員会

### 審査結果

議案1	議案2	議案5	議案14	議案23
可	可	可	可	可

開催日：令和6年11月25日、12月10日 場所：第三委員会室  
委員：◎村田稷史/○齋藤寛之/三井義文/徳永由美子/望月庄子/伊藤とし子/岡村芳樹



議案第14号 指定管理者の指定：佐倉市ヤングプラザ

## 経済環境常任委員会

### 審査結果

議案2	議案4	議案12	議案15
可	可	可	可

開催日：令和6年12月11日 場所：第三委員会室  
委員：◎高木大輔/○鍋田達子/三谷英継/稲田敏昭/橋岡協美/五十嵐智美/爲田 浩

### 付帯意見

・佐倉草ぶえの丘の管理運営については、指定管理者の指定期間が10年間と長期契約であることから、モニタリングの実施はもとより、事業者との定期的な情報共有など、連携を密にし、適切な施設管理とさらなる利用促進に努めていただきたい。

・近年、気候変動の影響による水害が頻発する中、洪水被害を抑制、軽減する役割を果たす田んぼダムは、水害防止の一助となる重要な取り組みであることから、その普及に努めていただきたい。

## 建設常任委員会

### 審査結果

議案2	議案11	議案24
可	可	可

開催日：令和6年12月12日 場所：第三委員会室  
委員：◎齋藤明美/○石井秀明/石井 昇/長谷川泰弘/宇田みおこ/密本成章/松島 梢

### 付帯意見

佐倉ふるさと広場拡張整備事業に係る用地取得については、隣接の農地に影響のないよう整備を進めるとともに、引き続き、地権者、農業者、近隣住民などに対し、丁寧な説明に努めていただきたい。



議案第11号 財産の取得：佐倉ふるさと広場

# 視察レポート

## 総務常任委員会

令和6年10月2～3日

北海道江別市：江別版生涯活躍のまち推進事業  
北海道北広島市：ポールパーク構想における企業誘致の取り組み



## 文教福祉常任委員会

令和6年10月8～9日

北海道石狩市：こども未来館『あいぽーと』  
北海道札幌市：学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）



## 経済環境常任委員会

令和6年10月3～4日

愛知県大府市：スマート農業の推進  
岐阜県岐阜市：リノベーションまちづくり



## 建設常任委員会

令和6年10月24～25日

三重県いなべ市：グリーンインフラの取り組み  
三重県桑名市：Ma a S推進室の取り組み



## 議会運営委員会

令和6年10月15～16日

福岡県糸島市：議会活動に関する調査特別委員会  
福岡県古賀市：議会BCP（業務継続計画）



## 2月定例会の予定

議会運営委員会	2月18日(火)
招集日	2月25日(火) 午後1時から
一般質問	3月3日(月)～6日(木)
常任委員会	3月10日(月)～13日(木)
予算審査特別委員会	3月17日(月)～21日(金) <sup>20日</sup>
最終日	3月25日(火) 午後1時から

### 陳情・請願の提出期限

陳情提出期限	2月10日(月) 午後5時
請願提出期限	2月17日(月) 午後5時

定例会の予定は変更になることがあります。 | 議会事務局  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。 TEL.043-484-6254

### 本会議（招集日・一般質問・最終日）の映像について

開催時間中はインターネットでライブ中継。翌日、午後5時30分からCATV放映。おおむね7日後以降は録画中継を配信（予定）

## 議会百景

市議会に興味を持ってもらうきっかけとして、多くの皆さまに手に取っていただき、読んでいただくことをコンセプトに平成8年の創刊以来初の紙面デザインをリニューアルしました。是非ご覧ください。

（広報公聴委員 齋藤 寛之）

高校生意見交換未来につなぐ形にしていく議会の責任12月17日に高校生との意見交換会を佐倉市議会で開催しました。未来を創る貴重な意見の数々に議会のさらなる重責と議員としての決意を新たにしました。

（広報公聴委員 橋岡 協美）

高校生との意見交換会の実施により、若い世代の声を市政に反映する機会を得ました。この機会をきっかけとし、市議会だよりをより若い世代にも手に取っていただけるよう広報公聴委員として努めてまいります。

（広報公聴委員 望月 庄子）